



2019年

ネクタリン病害虫防除暦

J A 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤（水 100 ㍓当り）	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 (㍓)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 9 8 ㍓) スプレーオイル 2 ㍓ トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓	発芽前 3 0 日前	— 5 回	3 0 0	(縮葉病) カイガラムシ類 ハダニ類	①カイガラムシ類 発生園は、アブロードフロアブルの 1, 000 倍 (7 日前、2 回) を加用する。 ②トレノックス F に代えて、石灰硫黄合剤の 10 倍 (発芽前) でもよい。* 石灰硫黄合剤は隣接するハウスピニールにかからないようにする。 ③せん孔細菌病 発生園は、開花前にキンセツ水和剤 80 の 1, 000 倍 (開花直前まで、5 回) を特別散布する。
2	月 日	開花直前	アビオン E 1 0 0 m㍓ IC ボルドー 412 3. 3 kg	—	—	3 5 0	せん孔細菌病	* せん孔細菌病の伝染源となる春型枝病斑は、こまめに切除する。(開花期～5 月) ①せん孔細菌病 発生園は、開花直前～6 月中下旬の散布まで、展着剤にアビオン E の 1, 000 倍 (固着性展着剤) を使用する。 ②もも混植園 黒星病 (うどんこ病) 発生園は、落花直後の散布にコロナフロアブルの 500 倍を加用する。 ③アブラムシ類 発生園は、落花直後の散布にウララ DF2, 000 倍 (7 日前、2 回) を加用する。 ④もも混植園 うどんこ病 発生園は、5 月中旬にトレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブルの 2, 000 倍 (前日、3 回) を使用する。
3	月 日	落花直後	展着剤 1 0 m㍓ サムコルフロアブル 10 2 0 m㍓ トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ マイコシールド 6 6 g	3 日前 3 0 日前 2 8 日前	2 回 5 回 5 回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類 シンクイムシ類	
4	月 日	5 月中旬 (前回から 10 日後)	展着剤 1 0 m㍓ トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ アブロードフロアブル 1 0 0 m㍓ モスピラン顆粒水溶剤 2 5 g マイコシールド 6 6 g	3 0 日前 7 日前 3 日前 2 8 日前	5 回 2 回 3 回 5 回	4 0 0	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類 カイガラムシ類幼虫	
5	月 日	5 月下旬 (前回から 10 日後)	展着剤 1 0 m㍓ トレノックスフロアブル 2 0 0 m㍓ ハチハチフロアブル 5 0 m㍓ マイコシールド 6 6 g	3 0 日前 前日 2 8 日前	5 回 2 回 5 回	5 0 0	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 (うどんこ病) シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	①もも混植園 うどんこ病 発生園は、トレノックス F に代えて、フルーツセイバーの 2, 000 倍 (前日、3 回) を使用する。 ②カイガラムシ類 発生園は、ハチハチ F に代えて、コルト顆粒水和剤の 2, 000 倍 (前日、3 回) を使用する。
6	月 日	6 月上旬	展着剤 1 0 m㍓ デランフロアブル 1 6 6 m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 5 0 g マイコシールド 6 6 g	1 4 日前 前日 2 8 日前	2 回 3 回 5 回		せん孔細菌病 灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	
7	月 日	6 月中下旬	展着剤 1 0 m㍓ デランフロアブル 1 6 6 m㍓ ダーズバン DF 3 3 g スターナ水和剤 1 0 0 g	1 4 日前 1 4 日前 7 日前	2 回 2 回 3 回	6 0 0	せん孔細菌病 灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類	* せん孔細菌病が発生しない園は、スターナ水和剤を除いてもよい ①晩生種で、せん孔細菌病 多発園は、スターナ水和剤に代えてマイコシールドの 1, 500 倍 (28 日前、5 回) を使用する。
8	月 日	7 月上旬	展着剤 1 0 m㍓ ナリア WDG 5 0 g イカズチ WDG 6 6 g	前日 前日	2 回 2 回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	①ナリア WDG はぶどう (ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じる恐れがあるので、隣接園は注意する。 ②ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の 1, 000 倍 (7 日前、1 回) を加用する。
9	月 日	7 月中下旬	展着剤 1 0 m㍓ オンリーワンフロアブル 5 0 m㍓ エクシレル S E 2 0 m㍓	前日 前日	3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	①ハダニ類 発生園はダニコングフロアブル 2, 000 倍 (前日、1 回) を加用する。
10	月 日	8 月上旬	展着剤 1 0 m㍓ ベルコートフロアブル 5 0 m㍓ アーデントフロアブル 5 0 m㍓	前日 前日	2 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類	
11	月 日	8 月中下旬	展着剤 1 0 m㍓ オーシャインフロアブル 5 0 m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 5 0 g	前日 前日	3 回 3 回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	①もも混植園 ミカンキイロアザミウマ 発生園は、ディアナ WDG の 10, 000 倍 (前日、2 回) を加用する。
12	月 日	9 月上旬	展着剤 1 0 m㍓ ベルコートフロアブル 5 0 m㍓	前日	2 回		灰星病 ホモプシス腐敗病 黒星病	①シンクイムシ類 発生園は、アーデントフロアブルの 2000 倍 (前日、3 回) を加用する。
13 14 15	月 日 日	収穫終了後 9 月 上中旬～ 1 0 月 上旬 3 回散布	アビオン E 1 0 0 m㍓ IC ボルドー 412 3. 3 kg ダイアジノン水和剤 34 1 0 0 g	— — 2 1 日前	— — 3 回	6 0 0	せん孔細菌病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ若齢幼虫	* ダイアジノン水和剤 34 は 1 回目の散布のみ使用する。 ①アビオン E に代えて、KK ステッカーの 3, 000 倍でもよい。(KK ステッカーは必ず最後に調合する) ②IC ボルドー 412 に代えて、ムッシュボルドー DF の 500 倍 (開花前まで) でもよい。薬害が心配される場合は、クレフノン を 100 倍を加用する。 ③コスカシバ 発生園は、フェニックスフロアブルの 500 倍 (開花期まで、1 回) を樹幹部及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーの禁止